

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和47年～		根拠法令・規程等		児童手当法他	
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		問合せ先	担当課(室)	保健福祉部 子ども課	
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり			職・氏名	こども福祉係長 大森賢二	
	小項目	施策	01	子育て支援			電話	0869-64-1825	
事務事業名		13	児童手当等給付事業		このシート作成に要した時間		1.0 時間		

事業の目的		対象(誰・何に対して)		児童手当(小学校終了前までの児童を養育している人) 特別児童扶養手当(心身に一定の障害のある児童を監護している養育者)	
目的(何のために)		家庭における生活の安定に寄与し、次世代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するとともに、心身に障害のある児童に対して特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図る。			
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		制度を周知し支給漏れのないようにする。			

事業の実績		細事業名		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	児童手当給付事業	児童手当の支給事務				○
	特別児童扶養手当事務事業	特別児童手当の支給(県)に伴う事務				○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	276,357	276,015	270,222
	必要人員人件費	千円	1.12人 8,089	0.69人 5,249	0.88人 6,580
	事業費計	千円	284,446	281,264	276,802
決算額	国県支出金	千円	198,564	204,675	192,678
	受益者負担金	千円			
	繰入金	千円			
	その他( )	千円			
一般財源	千円	85,882	76,589	84,124	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	説明	児童手当の受給資格がある者のうち申請者	2,074	2,007
	対前年比	%	2,152	96.4%	96.8%
	活動コスト	円	284,072,214	281,188,166	276,639,334
	単位当たりコスト	円	132,004	135,578	137,837

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
支給対象者のうち申請者数	成果指標名	目標値(A)	2206	2121	2011	100%
		実績値(B)	2203	2119	2008	到達目標値
		達成率(B/A)	99.86%	99.91%	99.85%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請者数/支給対象者数						

事務事業の評価		市の関与の妥当性の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 <A~E>
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		22年度より子ども手当に移行するため、支給金額が増加する。制度の理解・周知の必要性がある。							

総合評価		評価区分 <A~E>	C
子ども手当制度の移行により、事務が複雑となり正確な事務が求められる。今後も制度の改廃が考えられるので、国の動向を注視する必要がある。			

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		子ども手当の制度は、現在、国においてH23年度以降の制度が検討されている。支給額を変更するかどうかがやそれに替わる施設整備等にするか、今後の課題である。							

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意しない目的やその数値目標である成果指標に行って下さい